

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	危機管理室	部長名	中村 康成
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
今後、本市に最も大きな被害をもたらすであろう地震災害に備えた、災害体制の構築等に重点を置き、特に職員と地域防災力(消防団・自主防災組織等)との連携強化を図り、より実践的な訓練を行う中で問題点や課題点を修正し、災害時には迅速で的確な対応を可能なものとする。また、災害時等の緊急時の情報発信については、ICT(防災アプリ等)の導入を目指し、大東での暮らしをどこよりも安全・安心なものとする。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%			
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%			
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害等に対して安全・安心なまちにする市民満足度	（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%			
	（目標値）						
	（実績値）						

【重点分野】

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和4年度取組方針	令和4年度取組実績
「地域防災計画」に基づいた災害体制の構築強化を図るべく、特に地域防災力との連携強化に取り組み、より効果的で実践的な防災訓練を実施する。 また、福祉避難所の拡充にともない、高齢者、障害者施設等の協力事業者との連携を図り、福祉避難所開設訓練を実施し受け入れ態勢のシミュレーションを行い、災害発生時には迅速で的確な対応可能な連携体制の構築を図る。災害協定については、更なる拡充を目指し、協定の締結に向け、市町村や事業所に対して積極的に働きかける。 災害情報等については、正確で迅速な情報発信を行える大東市版防災アプリの導入を行う。	新型コロナウイルス感染拡大に伴い防災訓練の実施時期を変更したものの、ピーク時を避けることで、宿泊を伴う避難所開設（体験型）の防災訓練や福祉避難所開設訓練を実施し、大きな成果を得るとともに、新たな課題や、今後の避難所運営の方向性を得た。また、災害協定については、当初目標としていた4社と締結ができ、さらに予定していた事業者3社及び市町村1市とは、感染拡大により延期を余儀なくされたが令和5年度には締結を予定している。また、大東市防災支援システム及び防災アプリについては、職員の操作訓練をおこない、早急に市民に対し防災アプリの周知を行いダウンロードしていただけるよう最終調整を実施している。

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	政策推進部	部長名	東 克宏
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針

第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本的な考え方を踏まえ、
1）大東が他市に先駆けて取り組んできた「公民連携」「住民自治」の発想により、多様な関わりをまちづくりに取り入れていく。
2）誰も排除されず、あらゆる人が自分が生きたいような生き方を選択できる社会を作る。大東の中で培われてきた自主性の尊重、自発的な協力や取引を重視し、市民により近いところで課題解決に取り組む。
3）魅力的な大東市になるためにオープンでコラボラティブ（公民連携）で多様な能力や資格を持った人々が参画する仕組みを整える。
4）行政を再発見し、効率や競争力を重視するのではなく、実際の効果、アウトカムを測る。共感を軸として機能するように市民を取り巻く環境、状況を包括的に理解しデザインする。

2. 関連する総合計画の基本目標

【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上 （目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%				
大東の将来への期待度の向上 （目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%				
健康寿命の延伸 （目標値）		平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
（実績値）	平均寿命 男性：85.0歳 女性：86.4歳 健康寿命 男性：71.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	—	—				
市民の経済力の向上 （目標値）		課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上
（実績値）	課税対象所得府内平均以下（平成29年）	—	—				
人口構成バランスの適正化 （目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減				

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
危機管理の徹底						
【KPI】（令和7年度）						
災害等に対して安全・安心なまちに対する市民満足度 （目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%			

【重点分野】

エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
駅前地の価値の上昇 （目標値）		18.2万円 16.2万円 25.1万円	18.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条堀駅19万円 野崎駅16.8万円 住道駅25.5万円
（実績値）	四条堀駅18万円 野崎駅16万円 住道駅25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円			
住みたい自治体ランキング 関西版 （目標値）						30位以内
（実績値）	ランク外	86位	ランク外			

【重点分野】

確かな学力の向上と教育環境の充実

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合 （目標値）						国平均以上
（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.3% 中：81.9% （令和元年度）	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%			

【重点分野】

総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
経常収支比率の改善（フロー） （目標値）	大東市 99.0% 大阪府 95.7%	大東市 98.9% 大阪府 92.0%	—			大阪府平均以下
（実績値）						
将来負担比率の維持（ストック） （目標値）	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし	将来負担なし
（実績値）	将来負担なし	将来負担なし	—			
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかるもの） （目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%（見込み）			
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合 （目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%			

4. 令和4年度の取組方針

令和4年度の取組実績

【なんのために】「幸せデザイン 大東」の実現に向けて大東市の組織マネジメント力を向上し、民間との連携をさらに深化させる。
【誰のために】大東市の地域活性化に寄与したいと思う市職員及び民間事業者
【提供価値】何のためかを問い直し、その目的に応じた人・仕事・仕組み・組織などの繋がり創出
【成果】（行政）全庁的な組織マネジメント力の向上、中長期的な戦略的視座の醸成（民間）パブリックマインドを持った事業者による活性化事業
【一年後のイメージ】（行政）進取気鋭の風土の兆しが見える（民間）民間提案制度やオープンデータを活用した共創の取組の実装化
・当初予算編成に中期的な事業構想の視座を取り入れ、公民連携、DX、業務改善にインセンティブを付与するなど単年度主義からの脱却を試みた。
・一方で民間提案制度やオープンデータ、BPRについては取組半ばであり今後の課題である。
・内部統制については仕組みは整っているが、運用面で改善点が散見しエラーが起こっている。
・今後はDX、庁舎整備、公民連携という事業を全庁的な取組に昇華することで組織力の向上に繋げる。

令和４年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	総務部	部長名	北田 吉彦
----	-----	-----	-------

１．中長期的な取組方針 第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を支える体制の構築に向けてICTの活用をはじめとした市民・利用者目線に立った行政サービスの提供のあり方や生産性を高める職員の働き方を進める。業務の効率化や行政サービスの利便性向上の先には「モバイル職員」を見据え、自ら地域に向き、様々な地域課題に対応できるような体制を築いていく。
--

２．関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%				
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%				
（目標値）							
（実績値）							

３．総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）							
【重点分野】							
総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%	
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%（見込み）				
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%	
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%				

【重点分野】							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

４．令和４年度取組方針	令和４年度取組実績
大東市DX推進基本計画に基づき業務のデジタル化を推進するとともに、業務の効率化を図るために弾力的な人員配置に努める。 経営資源となる優れた人材の確保と、その能力を最大限に発揮できる人材育成、職場づくりに取り組む。	総務部では、第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を支える体制の構築に向けてICTを活用した業務の効率化や高度化、行政サービスの提供に資する施策に取り組んできた。 特に、「定例的かつ全庁的な事務手続きのシステム化」や「固定資産税業務におけるRPAの拡充」、「手続きのオンライン化・キャッシュレス決済の導入」においては一定の成果が表れた。

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	市民生活部	部長名	木村 吉男
----	-------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
「第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、未来につなぐ環境づくり、環境にやさしいまちづくりとしてプラスチックごみ削減の取組み「だいたいプラスチックごみゼロ宣言」の実行、食品ロスの推進、ZEB※（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を視野に入れた環境にやさしい公共施設の検討を進めるとともにまちに対する市民の愛着の醸成をはかるために市民協働・住民自治の取組を進め、市民の皆さんが地域に関心を持ち、地域のひとと人のつながりを基にして助け合い、支えあうことができる住み良い地域社会づくりを目指す。また、安全で安心な住みよい地域社会の実現のため、防犯灯、防犯カメラの支援の充実を図るとともに、警察や防犯委員など各種関係団体との更なる連携強化を図る。行政サービスのデジタル化のさらなる進展のために中核となるICTを活用した行政サービスに寄与するマイナンバーカードの取得促進、加えて、窓口予約制等の滞留時間短縮の仕組みづくりを検討する。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】		当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%				
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%				
	（目標値）							
	（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）

【重点分野】

エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出

【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住みたい自治体ランキング関西版	（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外			
資源化率	（目標値）		17.3%	18.0%	18.7%	19.4%	20.1%
	（実績値）	16.6%	17.6%	—			
庁内の温室効果ガス排出量削減率	（目標値）		38.2%	38.4%	38.6%	38.8%	39% (R12.40%)
	（実績値）	49.0%	45.0%	—			
交通災害共済の加入率	（目標値）		26.5%	27.0%	28.0%	29.0%	30%
	（実績値）	26.2%	25.1%	24.3%			
マイナンバーカードの普及率	（目標値）		50.0%	55.0%	60.0%	70.0%	80%
	（実績値）	28.2%	43.0%	64.2%			

【重点分野】

総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%（見込み）			
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%			

【重点分野】

【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和4年度の取組方針	令和4年度の実績
●SDGsの推進と所管する全ての事業を結びつけ、目標達成に向けた取り組みを目指す。 ●部の職員誰一人取り残すことなく、全員が丸一となって目標達成へ向けて共通の認識を持てるような職場風土を創造する。具体的には、令和2年度より実施している部全体の勉強会等を定期開催するなど、組織の一体感、組織力の向上を図り、誰もが遠慮なく発言できる職場環境を整える。 ●各課が抱える課題解決に向けて具体的に成果を表すことで、職員が誇れる職場を構築する。 【具体的な事項】 ・市民協働住民自治の充実、交通安全共済の加入率向上、粗大ごみ有料化、地下水採取の規制緩和検討、窓口業務改善（DX化）	（市民協働住民自治の充実・交通災害共済の加入率向上） コロナの影響により、市民・関係団体等と協働で実施する「市民まつり」などの各種イベントは中止となったが、区長会を通じての情報発信、提案公募型委託事業の実施、防犯活動など可能な範囲で各種団体等と連携し事業を実施した。また、交通災害共済については、自治会との連携のもと集団受付等を例年通り実施するとともに、広報だいたい・HP・FB等で周知に努めた。加入率は24.12%（令和5年2月末現在）。 （粗大ごみ有料化） 令和5年7月からの実施に向け、広報だいたい8月号での特集記事の掲載を皮切りに、ホームページ・SNS等を活用した周知活動を行うとともに、粗大ごみの手引きを作成しごみ収集カレンダーと併せて全戸配布を行った。また、1月以降、電話受付体制及び収集体制の拡充を行い、かけこみ需要により待ち時間が長くないよう体制整備を行っている。 （地下水採取の規制緩和検討） 地下水採水による地盤沈下への影響等について、受託調査会社から、スーパー銭湯をはじめとする温泉利用等について、一定の緩和が可能であるとの調査報告を受けたところである。今後、当該調査報告をもとに、具体的な規制緩和の基準を検討し、条例・規則改正を行う予定。 （窓口業務改善（DX化）） マイナンバーカード取得促進に向け、月に2回の休日開庁を実施するとともに、1月～2月の2カ月間は毎週休日開庁を実施し、普及率の向上に努めた。なお、マイナンバーカードの交付率は60.63%、申請率は70.36%となっている。

令和４年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	市民生活部（人権室）	部長名	奥野 佳景
----	------------	-----	-------

１．中長期的な取組方針
「第５次大東市総合計画」に基づき、一人ひとりの幸せの実現を図るための土台として、基本的人権の尊重という普遍的な理念をあらゆる施策に反映できるよう努めていく。あわせて、国際的な目標であるSDGsの観点である「多様性」を念頭に、性の多様性や文化や価値観の多様性などを認め合い、それぞれの個性と能力を発揮できるまちづくりを進めていく。さらには、差別事象に対して的確な対応を図るとともに、意識啓発にも取り組んでいく。 また、「第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、野崎地区の未利用地の処分及びび活用について調整を図り、エリア価値を創出する。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%			
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住みたい自治体ランキング 関西版	（目標値）					30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外		
	（目標値）					
	（実績値）					

【重点分野】						
総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）						
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%			
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

４．令和４年度の取組方針	令和４年度の取組実績
○ すべての人の人権尊重の推進 人権啓発団体と協働し、コロナ禍の現状においても、人権啓発活動の効果的な手法や広報のあり方を検討するとともに、インターネットを活用した取り組みをより一層充実させて市民の人権意識の高揚を図る。 ○男女共同参画社会の推進 性別に関わらず誰もが個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を推進するため、ジェンダー平等の実現と男女共同参画意識の醸成に寄与する。 ○野崎地区内の未利用地の処分及び活用 地域等の意見を聴取し、市と地域のパイプ役として調整を図る。 ○犯罪被害者等の支援	○ すべての人の人権尊重の推進 人権啓発ネットワーク大東の幹事会にて、人権啓発活動の効果的な手法や広報のあり方を検討を行い「マスコットキャラクターの作成」や学生との協働を進めていくこと等の取り組みを進めていくこととなった。 また、週間記念事業等では動画配信を行い、市民の人権意識の高揚を図った。 ○男女共同参画社会の推進 男女共同参画映画会、男女共同参画推進講座、女性のためのステップアップ講座等を実施した。また、中学校５校で生徒を対象にデートＤＶ防止教室を実施し、ＤＶや性に対する理解促進を図った。 ○野崎地区内の未利用地の処分及び活用 深野園住宅建て替えに関するアンケート調査を実施し、意見聴取を実施した。 ○犯罪被害者等の支援 他市の状況を調査した。 ○人権啓発モニュメントの設置 野崎駅西側駅前広場の整備に伴い、本市の都市宣言の趣旨をふまえ、人権尊重、平和、命の尊さを訴える人権啓発モニュメントを設置することとなった。モニュメントの製作にあたっては市内大学生との共同製作を検討中。

令和４年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	福祉・子ども部	部長名	青木 浩之
----	---------	-----	-------

１．中長期的な取組方針
第２期大東市まち・ひと・しごと・創生総合戦略の重点分野「出産や子育ての安心と魅力の創出」における個人の価値観に応じた出産、子育てに対する主体的な選択を応援し、その実現を阻害する要因を取り除くとともに、子育てを楽しめる環境を構築し、「子育てするなら、大都市よりも大東市。」のブランド力の強化と定着を図る。そのために、子どもの成長に応じて生じる様々な期待や不安を受け止める切れ目のない支援により、子育てへの安心と信頼を醸成し、あわせて子ども自身の「子育て」をサポートしていくとともに、出産や子育てによって何かを諦めることなく、チャレンジする機会となるよう、子育てメニューの多様化に取り組む。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】		当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%				
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%				
人口構成バランスの適正化	（目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減				

３．総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）						
【重点分野】						
出産や子育ての安心と魅力の創出						
【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
年間出生数	（目標値）	839人	879人	920人	960人	1,000人
	（実績値）	799人	780人	724人		
若年者層（０～14歳・20～44歳）の社会増減	（目標値）	社会増	社会増	社会増	社会増	社会増
	（実績値）	△404人	△428人	△263人		
「保育環境が充実した子育てしやすいまち」と感じる人の割合	（目標値）	26.6%	33.9%	41.3%	48.6%	56%
	（実績値）	19.2%	20.4%	19.0%		

【重点分野】

健康寿命の延伸

【ＫＰＩ】（令和７年度）	当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度
福祉施設から一般就労への移行者数（目標値）		30人	34人	39人	43人	47人
（実績値）	26人	31人	—			
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

４．令和４年度の取組方針	令和４年度の取組実績
「ネウブランドだいとう」を中心とした子育て支援体制の構築を着実に進め、妊娠・出産から子育てまで、それぞれのライフステージの段階に応じた支援の実施による、安心して子どもを産み育てられる豊かな子育て環境の実現に取り組む。 生活困窮者の自立に向けて、継続的で包括的な「寄り添い型」の支援の充実を図る。 また、障害のある人が地域で安心して暮らしていくために、住まいの場の確保に係る事業を推進する。	「ネウブランドだいとう」において、市独自事業『入学スタートギフト』に取り組み、かつ、国における経済的支援『子育て応援ギフト』を迅速に実施したことにより、アウトリーチ型の課題抽出や早期フォロー等、伴走型子育て支援のさらなる充実を実現した。 生活困窮者支援については、生活保護制度とともに、重層的なセーフティネットを構築し、新型コロナウイルス感染症の長期的な影響を受けた生活困窮者が抱える課題が複雑化・複合化する前に、生活困窮者の自立と尊厳の確保を図りながら、自立のための一人ひとりの状況に応じたプランを策定し、包括的で寄り添った支援を行った。 特に、ひきこもり支援については、大阪府内でも数少ない中高年のひきこもり支援と若者等のひきこもり支援が連携・協働を図りながら、支援調整会議を通して自立相談支援機関「くらしサポート大東」、大東市総合就労支援事業、大東市家計改善支援事業、大阪府社協の生活困窮者レスキュー事業、ハローワーク等の関係支援機関と支援対象者の実態やニーズの把握を共有することで、ひきこもり支援の包括的な支援体制である【市町村プラットフォーム】の構築に取り組むことができた。 また、障害のある人が地域で安心して暮らしていくため、グループホームの入所希望に係る「ニーズ調査」を実施した。調査結果を踏まえ、当事者及び事業者のミスマッチを解消すべく、施設整備補助の充実に係る制度設計（要綱の改正）を行った。 今後は、本補助制度が、重度の障害がある人の住まいに対する不安が解消される一助となるよう、事業所に周知を図り、施設の設置を推進する。

令和４年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名		保健医療部		部長名		野村 政弘		
1. 中長期的な取組方針								
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「健康寿命の延伸」のために、これまで取り組んできた健康づくりの素地をアドバンテージとして、人生１００年時代を先導する心も身体も元気なまちを築いていく。そのためにはそれぞれの身体状況や生活状況に応じて活躍できる場や交流できる場を創出し年齢に関わらず社会に様々な形で参画機会を設ける。具体的には大東元気でまっせ体操による健康寿命延伸と介護費削減、居場所づくりを進め、健康意識の向上に向けた独自の取組を進める。								
2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】		当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ１２年度
大東に対する満足度の向上		（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
		（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%			
大東の将来への期待度の向上		（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
		（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%			
健康寿命の延伸		（目標値）	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸
		（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：86.4歳 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	—	—			
人口構成バランスの適正化		（目標値）	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
		（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減			
3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和７年度）								
【重点分野】								
健康寿命の延伸								
【ＫＰＩ】（令和７年度）		当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
健康寿命の延伸		（目標値）	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸	
		（実績値）	平均寿命 男性：80.0歳 女性：86.4歳 健康寿命 男性：77.99歳 女性：82.22歳 （平成27年）	—	—			
特定健康診査受診率		（目標値）	33.5%	33.8%	34.1%	34.4%	34.7%	
		（実績値）	30.3%	31.2%	22.3% （2月末現在）			
主観的な健康感（健康だと感じる人の割合）		（目標値）	79.2%	80.9%	82.6%	84.3%	86%	
		（実績値）	75.7% （令和元年度）	—	73.5%			
【重点分野】								
出産や子育ての安心と魅力の創出								
【ＫＰＩ】（令和７年度）		当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
年間出生数		（目標値）	839人	879人	920人	960人	1,000人	
		（実績値）	799人	780人	724人			
		（目標値）						
		（実績値）						
【重点分野】								
【ＫＰＩ】（令和７年度）		当初（Ｒ２）	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度	Ｒ６年度	Ｒ７年度	
		（目標値）						
		（実績値）						
		（目標値）						
		（実績値）						
4. 令和４年度の取組方針								
令和４年度の取組実績								
「第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、『健康寿命の延伸』を図る。人生100年時代を先導する元気なまち・大東を築くとともに、健康だと感じる人の割合を増やす事業推進を展開する。				・特定健診やがん検診について、かかりつけ医からの積極的な受診勧奨を依頼・実施した。 ・がん検診について、医療機関へのアンケート調査・聞き取り調査を行い、令和5年度からの強化策に反映し、予算化を行った。				
・特定健康診査をはじめとする検診（健診）受診率の向上を図り、疾病予防、早期発見に努める。 ・高齢者の保健事業や介護予防活動のさらなる充実を図る。				『健康寿命の延伸』の取り組みとして、【高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施】、【地域包括支援センターにおけるＩＣＴを活用した介護相談機能の強化】、【ＩＣＴを活用した高齢者の孤立化防止】、【認知症サポーター・生活サポーター活動のさらなる推進】を具体的施策に掲げ、１年間取り組んできた。おおむね目標に到達している。令和５年度は更なる事業の充実を図り、元気な高齢者を増やし、『健康寿命の延伸』に繋げていく。				

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	都市整備部	部長名	南野 徹
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針							
市民お一人おひとりが幸せを実感できる街を目指し、市民や民間のノウハウや資源と大東市が有する資源を掛け合わせ、まちの魅力の対象を「都市空間」や「回遊性・快適性」といった概念にも広げ、エリア価値を高め、大東でしか味わえない楽しく快適かつ安全・安心で持続可能なまちを創出していく。							
高齢化やコロナ禍等による価値観の変化に配慮しつつ、本市の強みである交通至便性や豊かな自然などを活かした魅力あるまちづくりに加え、立地適正化計画等を有効に活用しながら災害ハザードエリアに対する安全・安心のまちを目指すとともに、都市を支える道路・橋梁・ポンプ施設等の老朽化対策等にも積極的に取り組む。							
あわせて、都市の基盤を形成する野崎駅・四条畷駅周辺整備などの現在進行中の事業については、着実に推進するとともに、道路等の基盤施設の適正な維持管理に努める。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%			
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%			
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	（目標値）	30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%	
	（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%			
住宅の耐震化	（目標値）	83.0%	86.0%	92.0%	93.5%	95%	
	（実績値）	80% （平成27年度）	—	—			

【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
駅前地の地価の上昇	（目標値）	18.2万円 16.2万円 25.1万円	19.4万円 16.3万円 25.2万円	18.6万円 16.5万円 25.3万円	18.8万円 16.6万円 25.4万円	四条畷駅19万円 野崎駅16.8万円 住進駅25.5万円	
	（実績値）	四条畷駅18万円 野崎駅16万円 住進駅25万円	18万円 16万円 25万円	18万円 16万円 25万円			
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	（目標値）	18.7%	22.0%	25.4%	28.7%	32%	
	（実績値）	15.4%	16.6%	15.3%			

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）							
	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	（目標値）						
	（実績値）						
	（目標値）						
	（実績値）						

4. 令和4年度の取組方針		令和4年度の取組実績					
①選ばれるまちづくり（コロナ禍を見据えたまちづくり） コロナ禍による社会情勢の変化から都心近郊の自然豊かで交通利便性が高い本市の魅力が再認識されると見込まれる。選ばれるまち、住みよい街をめざし、まちの魅力創出・活性化策として従前から取り組むハード事業はもとより本市を支えるファミリー層などをターゲットとした人口流入、定住促進に資する住宅政策、空家利活用の検討、龍間の魅力向上、景観形成などの施策事業を充実展開していく。		①選ばれるまちづくり（コロナ禍を見据えたまちづくり） 本市の将来を支えて頂ける子育て世代の流入を目的の一つとした三世代家族推進事業制度の利用実績は、3月28日時点で21件であり、今後も子育て世代の流入、定住に資する制度として運用を行っていく。選ばれるまち、住みよい街をめざし、まちの魅力創出・活性化策としては、連続立体交差の可能性及び東部山地部の活性化の検討を行い「令和4年度」R学研都市線住進駅～忍ヶ丘駅間連続立体交差基礎調査報告書」「令和3年度大東市東部山地部の活性化検討基礎調査報告書」として取りまとめた。					
②持続可能なまちづくり 人口減少、少子高齢化等に加えコロナ禍で社会情勢が変化する中、地震や豪雨などの自然災害にも対応可能なまちをめざし、広域的視点に立ち将来の姿や施設整備の方向性を示す。		②持続可能なまちづくり 歩行者や車両等の円滑な通行と安全確保のため、深野北谷川線の用地買収において4件と契約した。また、本市は、寝屋川流域に属していることから、校庭貯留施設整備や流域調節池の戦略的な維持管理等の事業を推進することで、浸水被害の軽減に寄与した。					
③安全・安心のまちづくり 老朽化する橋梁等都市施設の適切な維持管理を継続し、浸水対策に有効なポンプ場は更新等の方向性を示す再整備計画を策定する。		③安全・安心のまちづくり 橋梁長寿命化計画に基づき、平野屋新橋補修工事を発注した。また、本市が管理するほぼ全てのポンプ場について老朽化度、使用頻度等の調査を行い、既存ポンプ場更新計画の見直しを行った。					
④まちづくりを担う職員の育成 職員の意識改革を目的とした施策検討会及び知識や制度設計向上のため設計審査会を継続実施する。業務の進捗状況や課題等の情報共有を徹底するため定期的に事務研究会を実施しリスクの早期発見や新規事業や業務改善などを気軽に提案可能な職場環境を整える。		④まちづくりを担う職員の育成 部内職員の意識改革を目的とした施策検討会を4回開催し、職員の知識や設計等の制度の向上を図った。また、部内各課において、業務の進捗状況や課題等の情報共有を徹底するため定期的に事務研究会を実施した。					

令和４年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	産業・文化部	部長名	北田 哲也
----	--------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針							
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点分野である「6チャレンジする人と産業の後押し」に掲げる柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築、新技術などへのチャレンジ支援や、非製造業も含めた産業誘致なども検討し、ものづくり産業とそれ以外の産業が重層的かつ相乗的に地域経済を支えるまちを築く。 ・ものづくり産業と教育機関の集積という大東の強みを活かし就学から就職・勤労に至るまで切れ目なく人を育む仕組みを構築する。 ・時代の変化にも揺らぐことなく企業競争力を維持・強化できるよう、ICTの活用や大学の研究と連携した産業技術の向上などの支援を行う。 ・新たな産業誘致やスタートアップなどを後押しし、大東市を支える産業のすそ野を拡大する。							
また、アフターコロナを見据えた産業振興、歴史的資源の保存や年齢を問わず学ぶ意欲を喚起する生涯学習、本市のブランドメッセージや観光資源の磨き上げを担う観光施策を融合・連携させ、相乗効果を生み出していく。							

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%				
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%				
市民の経済力の向上（目標値）		課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上	課税対象所得府内平均以上
（実績値）	課税対象所得府内平均以下（平成29年）	課税対象所得府内平均以下（令和2年）	—				

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
住みたい自治体ランキング 関西版（目標値）							30位以内
（実績値）	ランク外	86位	ランク外				
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
チャレンジする人と産業の後押し							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地域職業相談室からの就職件数（目標値）		783件	888件	991件	1,096件	1,200件	
（実績値）	678件	753件	—				
全産業の付加価値額（万円／事業従事者1人あたり）（目標値）							大阪府付加価値額以上
（実績値）	大東市：458万円 大阪府：585万円（H28年）	—	—				
創業者件数（目標値）		45件	47件	48件	49件	50件	
（実績値）	43件	53件	—				
「産業（商業・工業など）が元気な活力のあるまち」と感じる人の割合（目標値）		22.0%	29.0%	36.0%	43.0%	50%	
（実績値）	15.0%	20.3%	17.6%				

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和4年度の取組方針		令和4年度の取組実績
本市の強みであるものづくり産業の集積を活かしながら、DXの更なる進展を推し進めることで、社会情勢や時代の変化に対応しうる柔軟性と強靱性を備えた産業基盤の構築を図るとともに、個々の企業が培ってきたノウハウや人材、設備機能などを持ち寄り、融合させる大東市版ブロックチェーンの仕組みを研究していく。 また、飯盛城跡「保存活用計画」と観光施策・産業振興との連携や、eスポーツへの関心や理解を得ることを目的にしたeスポーツ競技大会の実施により、各世代間の交流の場を創出し、「大東ファン」を市内外に増やしていく。		将来の大東市版ブロックチェーンの構築を目指し、市内企業の横のつながりを構築するDAITO DOUKI CAMPUS事業を実施。加えて、令和4年度より管理職育成および連携を強めるため、中堅・管理職向け研修DAITO BUSINESS CAMPUSを実施し、企業の連携を強化を図った。 観光分野に関しては、平野屋新田会所周濠跡を市史跡として指定するとともに、国史跡「飯盛城跡」及び天下人「三好長慶」に関して、お城フェスでのPRや御城印制作により恒常的に市外からの来訪を促しつつ、3月の「三好長慶公武者行列in大東」実施により市内外からの参加を促す等、歴史的資源を活用した交流人口増加に係る取組みに注力した。 また、大東eスポーツチャレンジ大会を開催し、多くの市民にeスポーツへの取組みをPRするとともに、各世代間の交流の場を創出する等、「大東ファン」を市内外に増やしていく取り組みを行った。

令和４年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	教育総務部	部長名	北本 賢一
----	-------	-----	-------

１．中長期的な取組方針
第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。 加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてＩＣＴの積極的な活用を図る一方で、発達段階で必要な「人と人との豊かな関わり」にもきめ細やかに取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上	（目標値）	64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%			
大東の将来への期待度の向上	（目標値）	74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%			
人口構成バランスの適正化	（目標値）	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
	（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減			

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
確かな学力の向上と教育環境の充実						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合	（目標値）					国平均以上
	（実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.8% 中：81.9% （令和元年度）	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%		
	（目標値）					
	（実績値）					

４．令和４年度の取組方針	令和４年度の取組実績
1.『憲法』、『教育基本法』、『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』等の法令を遵守しつつ、『大東市教育大綱』、『大東市まち・ひと・しごと創成総合戦略』等の計画に定める政策的事業を建設的な姿勢で取組む。 2.上記１の基本的な考え方の基、特に、次のことに取組む。 ①「徹底的家庭応援」にあつては、「家庭教育支援事業」として、小１アウトリーチ、いくカフェ、講演会、家庭教育応援企業等の拡充により、保護者に対する「学習の機会」と「情報の提供」を図るとともに、福祉と教育の連携策を整理する。 ②「安全・安心な教育環境の推進」として、『小中学校長寿命化計画』に基づき、学校施設の設計・工事を実施する。とりわけ、設計にあつては、民間事業者の提案を取り入れる仕組みを導入する。併せて、中学校空調設置の設計・工事のほか、更新が必要な改修を実施する。 ③安全で安定したおいしい学校給食を提供するとともに食育の推進を図る。 ④教育委員会の広報戦略を構築し、広報力強化に努める。 ⑤学校教育政策部と連携し、「義務教育学校」設置の可能性について検討をすすめる。 ⑥青少年教育センターは、青少年の健やかな育成と人権意識の高揚を図るためのものとの認識に立ちながら、安全に配慮した運営を図る。 ⑦教育委員会会議の議事改革をすすめる。（例えば、予算編成等の意見聴取の実施など。）	①家庭教育支援事業において、保護者等の孤立防止や困り事の早期発見、学習の機会、情報提供を図るため、小１アウトリーチ、いくカフェ、講演会など実施した。企業版いくカフェを開催するなど市全体で家庭教育を応援する体制を構築した。 ②「安全・安心な教育環境の推進」として、『小中学校長寿命化計画』に基づき、学校施設の長寿命化改良工事(住南小・南郷中)及び設計業務(四条北小・諸福小)を実施した。諸福小の設計業務にあつては、公募プロポーザル方式を導入した。3中学校校舎空調の更新工事(深野中・北条中・谷川中)、4中学校体育館空調設置工事(住道中・四条中・北条中・諸福中)のほか、必要な改修工事を実施。 ③食材費が高騰する中で所要額を確保し、安全で安定したおいしい学校給食を提供するとともに、給食指導の推進を図った。 ④効果的な広報に係る検討を行うため、両部各課1名で構成する「大東市教育委員会事務局広報プロジェクトチーム」を設置し3月31日までに、広報誌の特集や連載、J:COM番組への企画段階からの参画、動画作成等取組みをすすめ、発信力の強化を図った。 ⑤学校教育政策部と共に『（仮称）義務教育学校等の設置に関する検討報告書』（案）を作成した。関係部局と調整を図り、2月1日に総合教育会議にて審議していただき、より具体的な検討をすすめることとなった。 ⑥青少年教育センターにおいて、学習やスポーツをはじめとした自主的活動を支援し、人権教育に関する取り組みや居場所づくりに努め、互いに認め合える人間関係を構築するきっかけづくりをしたり、日常的に設備の安全点検を行うなど、子どもたちが安心して利用できる施設運営に取り組んだ。 ⑦教育委員会会議において、予算編成等の意見聴取の実施をはじめ議案のあり方の精査、教育長及び教育委員の資料のペーパーレス化の実施等議事改革を実施した。

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	学校教育政策部	部長名	伊東 敬太
----	---------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針 第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる重点分野である「確かな学力の向上と教育環境の充実」に向けて、大東ならではの彩り豊かな教育機会の創出によって、学びの個別最適化を図り、一人ひとりの学ぶ意欲を喚起する。そのために学力向上の取組みを一層推進し、学力の底力を育て、民のノウハウを活用した多彩な大東オリジナルの教育メニューを提供するとともに家庭・地域・学校・企業等が連携して、まち全体で子どもたちを守り、育てる意識を醸成する。 加えて、学びの深化や個別最適化、誰一人取り残さない教育を後押しするツールとしてICTの積極的な活用を図る一方で、各発達段階において必要な「人と人との豊かな関わり」について、きめ細やかに取り組んでいく。
--

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上 （目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%				
大東の将来への期待度の向上 （目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%				
人口構成バランスの適正化 （目標値）		社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増	社会増・自然増
（実績値）	社会減・自然減	社会減・自然減	社会減・自然減				

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
確かな学力の向上と教育環境の充実							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							100以上
全国学力・学習状況調査の標準化得点 （実績値）	小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：98 算数：97 （令和元年度）	小学校 国語：98 算数：98 中学校 国語：98 算数：98	小学校 国語：98 算数：99 中学校 国語：99 算数：98				
不登校児童・生徒数（千人率） （目標値）							0人
（実績値）	24.2人	27.2人	39.2人				
（目標値）							国平均以上
「学校に行くのは楽しい」と感じる児童・生徒の割合 （実績値）	大東市 小：79.8% 中：75.0% 国 小：85.8% 中：81.9% （令和元年度）	大東市 小：76.7% 中：75.0% 国 小：83.4% 中：81.1%	大東市 小：81.5% 中：74.2% 国 小：85.4% 中：82.9%				

4. 令和4年度の取組方針	令和4年度の取組実績
〈方針〉 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、学校園のあらゆる場面において感染症対策を講じた上での教育活動が求められる状況下において、学習・授業の形態や、登校園ができない児童生徒の学びの保障など、改めて再構築しなければならない課題がある。小中学校においては、様々な場面において、ICT環境を最大限に活用した学習活動を展開することにより、情報を収集・判断・処理する能力を養うとともに、個に応じた指導の充実と、個別最適化された学びの実現に向けて取り組む。 〈重点取組事項〉 - ICTを活用した多様な学習メニューを構築するとともに、教員のICT活用指導力の向上に努めることで学びの個別最適化を促進し、学力向上へとつなげる。 - すべての児童生徒が学びにアクセスできる環境を整えることで、「不登校ゼロ」へとつなげるために、児童生徒個々の状況把握により長欠・不登校の未然防止に努めるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、不登校指導員や「ボイス」等と連携し、きめ細やかな対応を行う。 - 全中学校区において学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入することで、地域人材の学校運営への主体的な参画を促し、学校と地域との連携をより確かなものとする。 - 義務教育9年間を一体として捉え、小学校と中学校とがめざす子ども像を共有し、9年間で育てていく観点を持ち、小中一貫教育を推進、発展させるとともに、「義務教育学校」設置の可能性について検討を進める。	- ICTを活用した授業づくりに関して、情報担当者以外の希望者を対象としたAI型デジタルドリルや学習支援ツール等の活用研修の実施を通してICTの活用を広げるとともに、教員向けのインターネット上の掲示板「TSP」による上記研修の動画や各教員の実践事例の共有により、ICT活用指導力の向上につなげることができた。 - 不登校への対応については、「学びへのアクセス100% 大東市不登校支援モデル」で示しているロードマップに沿って、より多層的な支援へとつながるよう、市教育支援センター「ボイス」における大学への社会見学の実施や、メタバース空間でのコミュニケーションからリアルでの交流につなげるICTの活用など新たな取組みを進めることができた。 - 全8中学校区において学校運営協議会を設置し、協議会委員による会議を開催する中で、今後の地域とともにある学校づくりに向けた議論とともに、意識共有を図ることができた。 「義務教育学校等の設置に関する検討報告書（素案）」を教育総務部と共同して作成し、その内容について本年2月に開催された総合教育会議においてご議論いただく中で、現在の小中一貫教育の状況や、本市における現状や課題について確認するとともに、今後、義務教育学校もしくは小中一貫校の創設について議論を進めるにあたっての基盤を構築することができた。

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	上下水道局	部長名	岡田 学
----	-------	-----	------

1. 中長期的な取組方針 「幸せデザイン 大東」（第5次大東市総合計画及び第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略）のまちづくりの理念である「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」に基づき、水道事業においては、令和2年度策定した水道ビジョンの基本理念を「いつまでもつづく『幸せのまち』を支える水道」とした。基本方針の《安全》安全でおいしい水の供給、《強靱》いつでもどこでも安定した給水の確保、《持続》適正な維持管理と経営基盤の強化を実現するため、アセットマネジメントに基づく事業を実施し、災害に強い水道の構築を目指す。又、下水道事業においては、「大東市管路施設ストックマネジメント実施方針」に基づき、重要度の高い施設から順次、点検・調査及び修繕・改築を実施し、下水道施設の長寿命化によりライフサイクルコストの低減を図り、良質な下水道サービスを持続的に提供することを目指す。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%				
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%				
（目標値）							
（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
危機管理の徹底							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度（目標値）		30.6%	36.4%	42.3%	48.1%	54%	
（実績値）	24.7%	35.6%	36.1%				
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続きのオンライン化率（本市にかかるもの）（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%	
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%（見込み）				
（目標値）							
（実績値）							

【重点分野】							
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
（目標値）							
（実績値）							
（目標値）							
（実績値）							

4. 令和4年度取組方針	令和4年度取組実績
水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、重要拠点配水管路及び配水場内施設更新事業を実施していく。 下水道事業においては、「ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき、令和3年度に実施した詳細設計を基に、令和4年度は改築工事を実施し、施設の延命化・長寿命化を図っていく。また、路面下空洞調査を実施し、老朽化した公共下水道に起因する道路陥没事故の事前防止に努める。	水道事業においては、「アセットマネジメント耐震化・再構築計画」に基づき、重要拠点配水管路更新事業として、4件の更新工事と1件の繰越し工事（L=827m）を実施した。配水場内施設更新事業としては、1件の設備更新と2件の委託業務を実施した。 下水道事業においては、「ストックマネジメント修繕・改築計画」に基づき予定していた改築工事を完了させ、施設の延命化・長寿命化を図ることができた。また、路面下空洞調査業務を完了させた。次年度以降調査結果に基づき、老朽化した公共下水道に起因する道路陥没事故の事前防止を図っていく。

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部 名	議会事務局	部長名	竹中 慎太郎
-----	-------	-----	--------

1. 中長期的な取組方針
コロナ禍においてますます議会運営が複雑化し、議会事務局の役割がより重要となってきた。市政の発展に十分寄与できるよう議会事務局自体の機能を強化しつつ「日本一開かれた議会」の実現をめざし、議会審議の見える化をはかるためにICTを活用したサービスの提供をはじめ議会運営力の充実を図り、円滑な市政運営に取り組んでいく。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%			
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）							
【重点分野】							
エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住みたい自治体ランキング 関西版	（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	86位	ランク外			
議会改革度自治体ランキング （参考）2020 議会機能強化 262位	（目標値）						30位以内
	（実績値）	ランク外	ランク外	ランク外			

【重点分野】							
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）							
【KPI】（令和7年度）		当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%			
ICTを活用した業務の効率化（議会のオンライン会議）	（目標値）		10%	20%	30%	40%	50%
	（実績値）	0%	10%	20%			

【重点分野】						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和4年度の取組方針	令和4年度の取組実績
二元代表制の一翼を担う議会がその責任と役割を十分に果たし、議会機能が有効に発揮され、市政発展に寄与できるようにきめ細やかなサポート体制を強化する。 通年議会導入のメリットを最大限活用し、必要とする議決審議を迅速に行い、市政運営に議会の意思が反映されるよう議会と理事者間の橋渡し役として調整役を担う。 「開かれた議会」＝大東市議会と言われるよう、審議経過などを市民にわかりやすく、より興味を持っていたけよう議会の“見える化”を推進し、夜間・日曜議会はもちろんのことコロナ禍で未実施となっていた「出前議会報告会」等を再開させ、地域での意見交換をはじめ、議員自らが説明責任を果たせるようサポートする。	令和4年度においては、二元代表制の一翼を担う市議会が、その機能を十分に発揮し、市政発展に寄与することができた。 本市議会は通年議会を導入しているため、令和4年度においては年4回の定例会議の外、3回の特別議会を開会するなど必要な時に必要とする対応ができ、議決審議を停滞させることなく迅速に行うことができた。また「開かれた議会」を目指し、議会活性化の一つとして、コロナ禍であったものの日曜議会・夜間議会を開催、議場講演会も同時に実施することにより、市民に分かりやすく、より興味を持っていただくことができた。一方で出前議会報告会は出向していく形を取っているため、地域に入っている開催はコロナ禍により実現できなかった。 令和4年度より市議会公式SNS(Twitter・Instagram)を開設し、市議会をこれまで以上に、身近に感じてもらえるよう情報発信することができた。引き続き、情報発信を拡充していきたいと考えている。

令和4年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式1-1（方針）

部名	選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局	部長名	辻本 雄大
----	-----------------------	-----	-------

1. 中長期的な取組方針
第5次大東市総合計画における考え方の一つである「財政基盤強化」において、今後の行政運営については、新しい取組みに積極的に取り掛かる一方で、既存の取組みを不断の見直し・再編を行うとされており、選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局においてもデジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて乗り遅れることが無いように常に各方面の動向に注目し、総合戦略を着実に推進していく。そのために生活圏域の視点に立った近隣自治体等との連携の検討を進める。

2. 関連する総合計画の基本目標							
【基本目標】	当初（R 2）	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 1 2 年度
大東に対する満足度の向上（目標値）		64. 8%	66. 5%	68. 2%	69. 9%	71. 6%	80%
	（実績値）	63. 1%	55. 4%	50. 3%			
大東の将来への期待度の向上（目標値）		74. 2%	75. 9%	77. 7%	79. 4%	81. 2%	90%
	（実績値）	72. 4%	56. 2%	51. 3%			
	（目標値）						
	（実績値）						

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
総合戦略の推進を下支えする体制（行政サービス改革）						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合	（目標値）	24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
	（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%		
ICTを活用した行政サービスの提供（選挙事務にかかるICTの活用）	（目標値）	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50%
	（実績値）	0%	0.0%	20.0%		

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

4. 令和4年度の取組方針	令和4年度の取組実績
選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局においてもデジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向け、乗り遅れることのないよう常に各方面の動向に注目していく。 公平委員会事務など、近隣市との広域連携の検討を行う。	●選挙管理委員会 ・共通投票所を導入している他市の情報を収集し、9月に開催された選挙管理委員会において検討を行った。また、選挙管理委員会においてプレインストーミングを活用しメリット・デメリット等について分析、検討を行った。 ・ICTを活用した新たな取組みとして、不在者投票における投票用紙の電子申請について、マイナポータルサイトのピットリサービス利用を開始。（大阪府知事選挙及び大阪府議会議員選挙より） ●公平委員会については、飯盛霊園組合加入各市において広域連携の検討中。

令和４年度 総合計画・総合戦略の推進にかかる各部等の運営方針

様式１－１（方針）

部名	会計室	部長名	田川 愛実
----	-----	-----	-------

１．中長期的な取組方針 「第２期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進を支える体制（行政サービス改革）を進める方向性として、強靱な財政基盤の確立を図るとともに、デジタル化が進むこれからの時代にふさわしい行政サービスの実現に向けて不断の改革を行うことが示されている。会計室においては、確実な資金管理の下、安全性を重視した効率的な資金運用を実施し、財政基盤の強化に寄与する。また、税公金納付のキャッシュレス決済を関係課と連携して拡充するなど、デジタル化により市民の利便性向上や事務の効率化を図る。

2. 関連する総合計画の基本目標								
【基本目標】	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R12年度	
大東に対する満足度の向上	（目標値）		64.8%	66.5%	68.2%	69.9%	71.6%	80%
	（実績値）	63.1%	55.4%	50.3%				
大東の将来への期待度の向上	（目標値）		74.2%	75.9%	77.7%	79.4%	81.2%	90%
	（実績値）	72.4%	56.2%	51.3%				
	（目標値）							
	（実績値）							

3. 総合戦略推進にかかる取組み（～令和7年度）						
【重点分野】						
総合戦略の推進を支える体制（行政サービス改革）						
【KPI】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地方公共団体が優先的にオンライン化すべきとされている手続のオンライン化（目標値）		26.4%	51.0%	60.0%	70.0%	81%
（実績値）	12.8%	12.8%	55.2%（見込み）			
「インターネットやSNSにより必要な行政情報が得やすいまち」と感じる人の割合（目標値）		24.4%	32.0%	39.7%	47.3%	55%
（実績値）	16.7%	23.8%	20.5%			

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

【重点分野】						
【K P I】（令和7年度）	当初（R2）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（目標値）						
（実績値）						
（目標値）						
（実績値）						

４．令和４年度取組方針 ●今年度は、令和５年度のISDN回線終了に伴う口座振替等データ伝送サービスの切替に向けて、「手形・小切手の全面的電子化（令和８年度予定）」も見据えた対策を講じる必要がある。市民の利便性、事務の効率化、本市の適正な費用負担等の観点から適切な対策を進めていく。 ●税公金納付のキャッシュレス決済方法を引き続き拡充する。 ●財政基盤強化に資するため、庁内関係課と協議し、確実な資金管理の下、安全性を重視した効率的な資金運用を実施する。	令和４年度取組実績 ●令和５年度の口座振替等データ伝送サービス切替に向けて、全収納代理金融機関等におけるサービス導入内容を費用対効果を勘案して決定し、切替テスト等を計画的に進めた。 ●税公金納付のスマホ決済に使用できるペイアプリの種類を追加し、スマホ決済件数が前年度から約２倍に増加した。市民の利便性向上、行政サービスのデジタル化に寄与した。 ●安全性の高い債券（地方債、地方公共団体金融機構債）を追加購入し、資金運用収入を増加させた。
--	--